

## メキシコ政治情勢（2024年9月）

### 〔概要〕

### 【内政】

- 1日、ロペス・オブラドール大統領は、憲法広場（ソカロ）において第6回大統領教書提出に先立つ政策演説を行い、政権6年間の成果等につき述べた。
- 1日、第66期連邦議会が開会した。連邦議会の開会に先立ち、8月30日、連邦上下両院で第66期両院の準備会合にて両院執行部が選出され、9月1日には両院の政策調整委員会メンバーが各々選出された。
- 2日付当地エル・フィナンシエロ紙は、大統領支持率に係る世論調査結果を発表。ロペス・オブラドール大統領の支持率は65%（前月比+4ポイント）。
- 3日、連邦下院議会は、賛成359票、反対135票、棄権0票の賛成多数（憲法改正に必要な、出席者の3分の2以上の賛成）で、司法改革にかかる憲法改正案を可決。11日、連邦上院本会議は同憲法改正案を可決した。
- 19日、全国選挙機関（INE）は、民主革命党（PRD）が指定要件を満たさないことにより正式に同党の政党登録が抹消された旨発表した。
- 22日、国家再生運動（MORENA）の党大会が開催され、全会一致で次期党首にアルカルデ内相が選出された。
- 22日、連邦政府は、本政権における治安分野の成果を発表し、2018年から2024年の間に、殺人件数を2018年比19%削減したと発表した。
- 25日、ロペス・オブラドール大統領は、2014年に発生したアヨツィナパ市の43人の師範学校生の失踪事件について発言。事実上、同大統領下の政権において成果が得られなかったことを認めた。
- 30日、ロペス・オブラドール大統領は、国家警備隊の国防省移管、及び先住民とアフリカ系メキシコ人の権利に関する憲法改正に署名した。
- 30日、当地エル・フィナンシエロ紙は、ロペス・オブラドール大統領の最終月の支持率にかかる世論調査結果を発表。同大統領の支持率は68%。

### 【外交】

- 18～23日、メルカド筆頭外務次官は、アラブ首長国連邦（UAE）を訪問し、同国と協力関係強化及び政治対話の深化を図った。
- 22～30日、バルセナ外務大臣は、第79回国連総会ハイレベルウィークに出席した。
- 24日、国連総会のマージンにおいて、第26回MIKTA外相会合が開催され、バルセナ外務大臣が議長を務めた。
- 25日、スペイン政府は、シェインバウム次期大統領が大統領就任式に国王を招待しなかったことは国王に対する敬意を欠くものであるとし、同国からは同就任式に誰も出席しないことを決定。これに対し、シェインバウム次期大統領は、国王を招待しなかった理由は、ロペス・オブラドール大統領が国王に送った書簡に返答がなかったためと説明した。

[本文]

【内政】

1 ロペス・オブラドール大統領による第6回大統領教書提出に先立つ政策演説

1日、ロペス・オブラドール大統領は、憲法広場（ソカロ）において第6回大統領教書提出に先立つ政策演説を行った。演説の要点は以下のとおり。

(1) 現政権による社会福祉事業の実績を強調。

(2) 政権発足時におけるマクロ経済指標等を現時点の数値と比較し、6年間の実績としてアピール。

(3) 経済成長率の伸長、外国投資の増加を強調。

(4) 現在の司法府に対する批判を行い、司法改革に係る憲法改正の是非を直接聴衆に問いかけ同改革の正当性を強調するとともに、同改革に批判的な米国の牽制。

(5) 移民問題に対処する最善の方法は根本要因へのアプローチであるとの指針を改めて示し、中米及びカリブ諸国の支援を強調。

(6) マヤ鉄道の建設やテワンテペック地峡地域の開発、フェリペ・アンヘレス（メキシコ市新国際）空港（AIFA）建設、道路の建設及び拡張等のインフラ事業の前進を強調。

(7) 現政権下での治安改善を強調。

(8) 6年間を通じて変革の基礎を築いた旨強調しつつ、シェインバウム次期大統領に同変革を引き継ぐ旨明言。

2 第66期連邦議会の開会：連邦上院執行部及び政策調整委員長の選出

9月1日、第66期連邦議会が開会した。連邦議会の開会に先立ち、8月30日、連邦上下両院で第66期両院の準備会合にて両院執行部が選出され、9月1日には両院の政策調整委員会メンバーが各々選出された。なお、連邦上院執行部については、3日、第四副議長及び理事3名が新たに任命された。両執行部一覧は以下のとおり。

(1) 連邦上院執行部

ア 上院議長：ホセ・ヘラルド・ロドルフォ・フェルナンデス・ノローニャ（Jose Geraldo Rodolfo FERNANDEZ NOROÑA）（MORENA）

イ 副議長

(ア) 第一副議長：イメルダ・カストロ・カストロ（Imelda CASTRO CASTRO）（MORENA）

(イ) 第二副議長：マウリシオ・ビラ・ドサル（Mauricio VILA DOSAL）（PAN）

(ウ) 第三副議長：カルラ・グアダルーペ・トレド・サモラ（Karla Guadalupe TOLEDO ZAMORA）（PRI）

(エ) 第四副議長：ホルヘ・カルロス・ラミレス・マリン（Jorge Carlos RAMIREZ MARIN）（PVM）

ウ 理事

(ア) ベロニカ・ノエミ・カミノ・ファルハ (Veronica Noemi CAMINO FARJAT) (MORENA)

(イ) ハスミン・マリア・ブガリン・ロドリゲス (Jazmine Maria BUGARIN RODRIGUEZ) (P V E M)

(ウ) ルイス・ドナルド・コロシオ・リオハス (Luis Donaldo COLOSIO RIOJAS) (M C)

(エ) リセス・サンチェス・ガルシア (Lizeth SANCHEZ GARCIA) (P T)

(オ) フリエタ・アンドレア・ラミレス・パディージャ (Julieta Andrea RAMIREZ PADILLA) (MORENA)

(カ) イメルダ・マルガリータ・サンミゲル・サンチェス (Imelda Margarita SANMIGUEL SANCHEZ) (P A N)

(キ) クラウディア・エディス・アナヤ・モタ (Claudia Edith ANAYA MOTA) (P R I)

(2) 連邦下院執行部

ア 下院議長：イフィヘニア・マルタ・マルティネス・イ・エルナンデス (Ifigenia Martha MARTINEZ Y HERNANDEZ) (MORENA)

イ 副議長

(ア) 第一副議長：セルヒオ・カルロス・グティエーレス・ルナ (Sergio Carlos GUTIERREZ LUNA) (MORENA)

(イ) 第二副議長：ケニア・ロペス・ラバダン (Kenia LOPEZ RABADAN) (P A N)

(ウ) 第三副議長：マリア・デル・カルメン・ピネテ・バルガス (Maria del Carmen PINETE VARGAS) (P V E M)

ウ 理事

(ア) フリエタ・ビジュアルパンド・リケルメ (Julieta VILLALPANDO RIQUELME) (MORENA)

(イ) アラン・サイール・マルケス・ベセラ (Alan Sahir MARQUEZ BECERRA) (P A N)

(ウ) ナジェリ・アルレン・フェルナンデス・クルス (Nayeli Arlen FERNANDEZ CRUZ) (P V E M)

(エ) ペドロ・バスケス・ゴンサレス (Pedro VAZQUEZ GONZALEZ) (P T)

(オ) フェンサンタ・グアダルーペ・ゲレロ・エスキベル (Fuensanta Guadalupe GUERRERO ESQUIVEL) (P R I)

(カ) ラウラ・イライス・バジェステロス・マンシージャ (Laura Irais BALLESTEROS MANCILLA) (M C)

### 3 大統領支持率に係る世論調査結果

2日付当地エル・フィナンシエロ紙は、大統領支持率に係る世論調査結果を発表。ロペス・オブラドール大統領の支持率は65%（前月比+4ポイント）。概要は以下のとおり。

(1) ロペス・オブラドール大統領の取組を支持するか。

ア 支持する：65%（前回（7月、以下同じ）61%）

イ 支持しない：33%（前回37%）

(2) 各分野における「ロ」政権の取組を如何に評価するか。

ア 経済

(ア) とても良い、又は良い：49%（前回50%）

(イ) とても悪い、又は悪い：35%（前回40%）

イ 治安対策

(ア) とても良い、又は良い：28%（前回24%）

(イ) とても悪い、又は悪い：59%（前回65%）

ウ 汚職対策

(ア) とても良い、又は良い：26%（前回24%）

(イ) とても悪い、又は悪い：59%（前回66%）

エ 社会給付

(ア) とても良い、又は良い：75%（前回67%）

(イ) とても悪い、又は悪い：14%（前回22%）

(3) 以下の政府インフラ事業を好評価するか。

ア フェリペ・アンヘレス（メキシコ市新）空港：44%（前回37%）

イ ドス・ボカス製油所：48%（前回40%）

ウ マヤ鉄道：48%（前回44%）

(4) 国内の主要な問題は何と考えるか。

ア 治安悪化：58%（前回61%）

イ 経済及び失業：17%（前回15%）

ウ 汚職：4%（前回4%）

#### 4 司法改革にかかる憲法改正案の可決

(1) 連邦下院での可決：9月3日、連邦下院議会は、賛成359票、反対135票、棄権0票の賛成多数（憲法改正に必要な、出席者の3分の2以上の賛成）で、司法改革にかかる憲法改正案を可決した。

ア グティエレス連邦下院副議長は、議長代理として、憲法改正案の全条文および附則の修正案が提出され、詳細な議論が行われたことを本会議で報告した。

イ 本会議は、採決の結果、マルティネス（German MARTINEZ CAZARES）連邦下院議員（PAN）、ゴメス（Tecutli Jose Guadalupe GOMEZ VILLALOBOS）下院議員（MC）が提出した修正案の手続きの停止及び審議の延長を求める2件の一時停止動議を否決した。

(2) 連邦上院での可決：9月11日、連邦上院本会議は、司法改革にかかる憲法改正案を可決した。本改正案は、国民行動党（PAN）、制度的革命党（PRI）、市民運動（MC）の所属議員による反対票が41票に対し、国家再生運動（MORENA）、緑の党（PVE

M)、労働党(P T)の所属議員及びP A N所属のユネス(Miguel Angel YUNES MARQUEZ)議員による賛成票が8 6票であり、よって憲法改正に必要な賛成票数を得たことをもって可決された。本改正案が定める主なポイントは以下のとおり。

ア 高等管区裁判所判事、初等地区裁判所判事、及び最高裁判所判事の一般投票による選挙プロセスが確立され、同プロセスは全国選挙機関(I N E)により実施される。

イ 最高裁判所判事を9人に減らし、任期を1 2年とする。

ウ 租税にかかる裁判において、各裁判所が判決を下すまでの期間は最長6ヶ月と定められる。この期限が遵守されない場合は、(新設される)司法規律裁判所(Tribunal Disciplina Judicial)に対して、定められた期限内に判決を下せない理由とともに通知されなければならない。行政裁判の場合は、内部統制機関(Organo Interno de Control)に通知されなければならない。

エ 最高裁判所判事、高等管区裁判所判事、初等地区裁判所判事、司法規律裁判所判事及び選挙裁判所判事の選挙手続を定める。

オ 高等管区裁判所判事、初等地区裁判所判事として選出されるための要件や、判事が死亡、辞任及び欠員となった場合の(新判事の)任命の仕組みを定める。

カ 選挙裁判所の管理及び内部統制は(新設される)司法行政機関(Organo de Administracion Judicial)が所管し、選挙裁判所職員の規則に関する事項は司法規律裁判所が所管することとする。また、同裁判所は、連邦司法とこれに従事する公務員との紛争及び最高裁判所とその職員との紛争も所管する。

キ 司法規律裁判所は、法律、公共の利益または適正な司法運営に反する行為または不作為を犯した連邦司法機関の公務員を審理、調査、捜査し、適切な場合には制裁を科す権限を有することとする。

ク 司法行政機関は、技術・運営面で独立し、司法機関の運営、司法分野のキャリア形成、司法の内部統制を所管し、高等管区裁判所、控訴裁判所、初等地区裁判所の数及び所管事項を決定する。

### (3) 司法改革にかかる憲法改正案をめぐる動き

ア 8月22日、サラザール駐墨米大使は、記者会見において、司法改革にかかる憲法改正案について「裁判官の直接選挙はメキシコの民主主義にとってリスクとなる」と述べ、「懸念している」と発言した。加えて、同大使は、市場及び民間セクターにとって法的枠組みに対する信頼が極めて重要であると述べた。

イ 同日、墨外務省は、駐墨米大使館に対し書簡を発出し、同大使の発言に対する姿勢を以下のとおり表明した。

(ア) サラザール大使の内政及び国家主権に関する発言に対して深い遺憾の意(profundo extrañamiento)を表す。

(イ) メキシコ政府は、憲法改正案の目的が司法改革を通じて法の支配を強化することであり、同司法改革は憲法に定められている民主的な手続きに則っていることを強調する。

(ウ) あくまでメキシコ内政の話である司法改革に関する米国大使の発言は、受け入れがたい内政干渉であり、メキシコ合衆国の主権に反し、また二国間関係の相互尊重が踏まえられていない。

ウ 8月27日、ロペス・オブラドール大統領は、早朝定例記者会見において、サラザール大使の発言を批判し、駐墨米国大使館及びカナダ大使館との関係を停止（pausa）すると発言。

エ 裁判所判事及び職員が、司法改革に関する憲法改正に反対し、デモ及びストライキを実施。9月3日、全国から集結した憲法改正に反対するデモ隊が下院議会の入り口付近をブロックし、一時混乱が生じた。9月4日及び5日には、上院議会の周囲で司法関係者のデモが実施され、メキシコ市内目抜き通りであるレフォルマ通りの一部を封鎖した。9月8日にも、大規模デモが実施された。

オ ピニャ(Norma PIÑA)最高裁長官は、本司法改革により、司法の独立性、司法行政の継続性が損なわれ、不確実性を招くとして一貫して反対の立場を表明。9月3日、「ピ」長官は最高裁判所のストライキに合流。9月5日、上院議会における審議プロセスの停止を命じられるか評価するため、最高裁判事達と協議を開始した。

カ 9月10日夕刻、連邦上院本会議場で審議中、議会前で抗議活動をしていたデモ隊の一部が上院議会の敷地内に入り、本会議場の出入り口扉等を破壊し本会議場に侵入、議場を占拠した。これを受けて、審議は一時中断。

キ 議員は旧上院議会にバスで移動し、場所を移し審議を再開したものの、同議会においてもデモ隊が本会議場に侵入を試み、治安機関のガスの使用、デモ隊と治安機関の間での揉み合いが発生するなど一時騒然となった。

## 5 PRDの政党登録抹消

19日、全国選挙機関は、本年6月に実施された連邦議会選挙で民主革命党（PRD）が有効投票数の3%以上を得られなかったとして、正式に同党の政党登録が抹消された旨発表した。

## 6 MORENA新執行部の決定

22日、国家再生運動（MORENA）の党大会が開催され、全会一致で次期党首にアルカルデ内相が選出された。また、ロペス・オブラドール前大統領の息子であるロペス・ベルラン氏が組織委員長（党内ナンバー3に相当）に就任した。

## 7 ロペス・オブラドール大統領の治安分野成果発表

22日、連邦政府は、本政権における治安分野の成果を発表し、2018年から2024年の間に、殺人件数を2018年比19%削減したと発表。

## 8 ロペス・オブラドール大統領のアヨツィナパ事件にかかる発言

25日、ロペス・オブラドール大統領は、2014年に発生したアヨツィナパ市の43人の師範学校生の失踪事件の真実究明は、政治的な利害によって妨げられていると述べ、事実上、同大統領下の政権において成果が得られなかったことを認めた。

## 9 憲法改正案の成立（国家警備隊の国防省移管等）

30日、ロペス・オブラドール大統領は、国家警備隊の国防省への移管及び先住民とアフリカ系メキシコ人の権利に関する憲法改正に署名した。

## 10 ロペス・オブラドール大統領の最終支持率

30日、当地エル・フィナンシエロ紙は、ロペス・オブラドール大統領（当時）の最終月の支持率にかかる世論調査結果を発表。同大統領の支持率は68%で、最終支持率としては、セディージョ大統領（1994－2000）の次に高い。分野別で評価が高かったのは、女性の権利、経済、雇用及び賃金給与。一方、治安及び汚職は否定的な意見が肯定的意見を上回った。

## 【外交】

### 1 メルカド筆頭外務次官の UAE 訪問

18～23日、メルカド筆頭外務次官は、アラブ首長国連邦（UAE）を訪問し、同国と協力関係強化及び政治対話の深化を図った。同次官は、アフマド・ビン・アリー・アル・サーイグUAE国務大臣と会談し、エネルギー、農業、科学技術革新、気候変動、教育、文化等の戦略的分野における二国間協力について協議。また、サーレUAE経済大臣とも会談し、メキシコとUAEの包括的パートナーシップの枠組みの中で、メキシコへの投資と貿易の機会について話し合った。

### 2 バルセナ外務大臣の国連総会出席

22～30日、バルセナ外務大臣は、第79回国連総会ハイレベルウィークに出席。「誰一人取り残さない：現在と未来の世代のための平和、持続可能な開発、人間の尊厳を促進するために共に行動する」をテーマに演説し、メキシコは公平で平等主義に基づく友愛社会の構築、取得の公平な分配、及び環境を保障する道徳的な経済を推進している旨述べるとともに、ロペス・オブラドール政権における社会政策等の成果に言及した。

### 3 MIKATA 外相会合の開催

24日、国連総会のマージンにおいて、第26回MIKATA外相会合が開催され、バルセナ外務大臣が議長を務めた。本会合において、MIKATAは未来サミットに関して、「未来のためコンパクト」及び同文書の付属文書「グローバル・デジタル・コンパクト」及び「未

来世代宣言」を指示する特別コミュニケを採択した。

#### 4 大統領就任式招待をめぐるスペイン政府の動き

25日、スペイン政府は、シェインバウム次期大統領が10月1日の大統領就任式に国王を招待しなかったことに対し、スペインが旧宗主国の国々の大統領就任式にはスペインを代表して国王が出席するのが慣例となっており、同対応は国王に対する敬意を欠くものであるとし、スペインからは誰も同就任式に出席しないことを決定した。これに対し、シェインバウム次期大統領はSNSで書簡を公表し、国王を招待しなかった理由は、ロペス・オブラドール大統領が国王に送った、征服時に犯した歴史的な侮辱を認め、2021年に合同式典を開催するよう求める書簡に返答がなかったためと説明した。

(了)